

## 新総合計画策定に係る市民参画事業・広報について

### 1 これまでの取組

総合計画策定の初期段階から、広く市民の意見を取り入れていくことを目的に、既存の取組も活用した現行総合計画の評価や、新総合計画の策定に向けた市民、団体、有識者等のヒアリングなどを実施してきた。

参考資料：仙台市総合計画策定のための各種意見・提言の概要

### 2 これから予定する市民参画事業・広報（案）

#### （A）シンポジウム

基本構想・基本計画（中間案）の内容を市民に説明し、幅広い議論を行うため、各部会の審議事項からテーマを設定し、パネルディスカッションや参加者との意見交換等を行うシンポジウムを実施する。

実施回数：2回（部会ごとに1回）

実施予定時期：平成22年10月

#### （B）フィールドワーク型ワークショップ

参加者をグループに分け、それぞれが複数の現場（フィールド）をまわり、実際にヒアリングや体験をした上で、テーマを次々に変えながら話し合うワークショップを行う。最後に、全フィールドに共通するテーマについてワークショップを行う。

実施予定時期：平成22年8月下旬～9月中旬の2日間

#### （C）区別意見交換会

基本構想・基本計画（中間案）の内容を区民に説明するとともに、区民の視点から区別計画を中心に様々な意見を聴取するため、区別意見交換会を行う。

実施回数：区ごと複数回。

実施時期：中間案公表後～11月上旬

#### （D）パブリックコメント

基本構想・基本計画（中間案）を公表し、それに対する市民からの意見を広く募集する。

実施時期：中間案公表後～10月中旬

#### （E）各界各層・有識者調査

市政と関係のある団体や有識者に対して、基本構想・基本計画（中間案）を送付し、それぞれの立場、専門的見地からの意見の提出を依頼する。

実施時期：中間案公表後～10月中旬

#### （F）広報

市民への総合計画の浸透を図るため、総合計画の策定過程について、市政だより（毎月）やホームページ、市政広報番組等により広報する。